よそにないものを岐阜から発信していきたい

箔押し・印刷業から始まり、食用純金箔をはじめ、フィルム製品etc…新事業を展開。「常に新しい夢をICHIBAN」にするをモットーに挑み続ける、ツキオカフィルム製薬株式会社　代表取締役　小池　重善さんにお話を伺いました。

ツキオカフィルム製薬㈱
代表取締役
小池重善さん

箔押技術～

「食用純金箔」誕生

「箔押」とは―。紙やプラスチックなどの素材に、接着剤をコートしたアルミ箔を金型(凸版)で熱と圧を加え凹凸をつける加工のこと。ツキオカフィルム製薬㈱(前進である月丘箔押)はこの金箔・銀箔を用いた特殊印刷「箔押」の加工メーカーとして1966年に創業しました。

その「箔押」を基盤技術とし、更なる開発を積極的に進めるなかで、ひとつの分野に着目し、取り組みをはじめました。

それは、箔押を食品と結びつけた技術「食用純金箔」。

「食べられるフィルムの上に食べられる接着剤を付ける」技術を開発

未知の分野の「食用純金箔」。

最初の壁は、まずは箔押をされるベースフィルム、接着剤、金箔を含めすべて「食用」のもので作らなければならないということでした。

苦労を重ねるなかで、すべての食品素材で「安全な素材」を探すことから徹底的に取り組みました。

開発の糸口となったのは、ある新聞に載っていたオブラートのような「水に溶けて食べられるフィルム(プルランフィルム)」の記事でした。

当時の開発チームは「可食フィルムに食用純金箔で箔押を施し、飲み物や食べ物の上に貼付することができれば、可食フィルムだけが水分で溶けて純金文字が食品の上に残り、食品に直接印刷できる」と、幾度となく試行錯誤を重ねました。

そして、4年の歳月をかけてようやく商品化に結び付きました。

次のハードルは「販路」でした。

食品業界という、今まで全く販路のない異業種へ、新規に営業することは大変困難なものでした。そのなかで、各食品業界に原料などの卸をしている商社へ紹介することで、商品を売り広げることができるのではないかとの考えに至り、展示会などに積極的に出展し続けました。

そして、その堅実な努力が実り、大手菓子メーカーとの契約に辿りつくことができました。

食用純金箔～

「可食フィルム」自社生産への挑戦

その頃、食用純金箔で使用していたベースフィルム(プルランフィルム)は特殊なフィルムであったため、とても高価なものでした。そこで、食用純金箔事業に必要な「可食フィルム」を自社生産してはどうかと考えはじめました。それは基盤技術である「箔押」から離れ、新しい技術分野に挑戦することでした。

可食フィルムを自社製品化するまでの道のりは、大変厳しいものでした。多種多様な食品素材を試しても、素材同士の繋がりが困難で、フィルム化しても脆く安定性がなく、薄いフィルム化ができませんでした。

しかし諦めることなく、日夜商品開発に取り組み続け、その結果、ついに第一号となる水溶性可食フィルムが完成しました。

その後も更に開発を重ね、さまざまな素材(デンプン、ゼラチンetc…)で薄いフィルムを手掛けることができるようになりました。

そこで、満を持して食品素材の展示会に出展したところ、国内外からの問い合わせが一気に舞い込むようになりました。まさに積み重ねてきた努力の成果です。

「フィルムには、まだまだ可能性が拡がっています。単に食品として開発するにとどまらず、健康食品、化粧品、医薬部外品、医薬品といった『異分野』への商品開発にも、果敢に挑み続けていきます」

小池さんは、そう力強く語ります。

伝統は作り上げていくもの 発想が現実になったときは、すでに未来に向かっている

現在、ツキオカフィルム製薬㈱は、今までに培ってきた技術をもとに、食用品を扱うメーカーとしてさまざまな分野の企業に新たな提案を展開しています。

そのなかで、今秋開催の「鮎菓子たべよー博」にも、既存の鮎菓子にはない発想での「鮎菓子」の提案を検討中です。

「食用純金箔をコラボレーションさせた鮎菓子はもちろんのこと、皆が思いつかないようなスタイルのものも提案してみたいですね」

そこには、小池さんの既成概念や固定観念を超越した「ものづくり」への想いがあります。

「伝統や文化を守り、受け継いでいくことはとても大切なことです。しかし、それだけではなく、時代に合わせ革新的なことを仕掛けていくことも重要です。今やっていることが、次の世代には伝統になるのです。100年後から振り返れば、今手掛けていることが伝統のはじまりなわけですから」

「夢を追うのはベンチャーの使命。それをどのように展開していくかが、重要なのです。限りなき可能性への挑戦を取り組む、やり込む、やり遂げる情熱を持って力強く描いていきたいです」

そう語る、小池さんの目線はまだまだ、ずっと先の未来へとつながっています。

ツキオカフィルム製薬株式会社
各務原市テクノプラザ2丁目11番地
Tel.058-370-2911　fax.058-370-2913
http://www.moonhill.jp/